令和６年度

総合型選抜 学生募集要項

人間発達文化学類

（芸術・表現コース，スポーツ健康科学コース）

行政政策学類 夜間主

経済経営学類

共生システム理工学類

食農学類

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

〒960－1296
福島市金谷川１番地
☎024－548－8064（入試課）
https://www.fukushima-u.ac.jp/

福島大学
スマートフォン対応サイト

目　　次

Ⅰ．アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） ･････････････････････････････････････ 1
Ⅱ．募集人員等･･･ 7
Ⅲ．出 願 資 格･･･ 8
Ⅳ．出 願 手 続･･･ 13
１．出願方法の確認
２．事前準備
３．インターネット出願登録期間
４．検定料の支払い
５．出願期間
６．出願書類提出先
７．出願書類等
８．出願書類作成上の注意事項
９．受験票の印刷について
10．出願状況についての情報提供
Ⅴ．障がい等のある入学志願者の事前相談 ･･･ 18
Ⅵ．選 抜 方 法･･･ 19
Ⅶ．合格者発表･･･ 26
Ⅷ．入 学 手 続･･･ 26
１．入学手続について
２．入学辞退者の取扱い
３．入学時の大学への納入金
４．入学料・授業料の減免について
Ⅸ．不正行為の禁止について･･･ 27
Ⅹ．入試情報の公開（開示）について ･･･ 28
１．試験問題等の公開について
２．入学試験個人成績等の開示について
Ⅺ．入学志願者の個人情報保護について ･･･ 28
Ⅻ．東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において
被災された方に対する検定料の免除について ･････････････････････････････････････ 29
XⅢ．令和７年度福島大学入学者選抜（令和６年度実施）の見直しに関する予告について ･････ 30
XⅣ．その他･･･ 30

○　福島大学案内図･･･ 本要項末

Ⅰ．アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は，正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて，自ら学び，主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また，東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし，「新たな地域社会の創造」に取り組み，人口減少や高齢化，環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21 世紀的課題」を自分事として捉え，複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え，確かな専門知識や技術，実践的なスキル，「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では，以下の要件を満たす学生を募集します。なお，「求める学生像」の具体的内容は，学類のアドミッション・ポリシー（ＡＰ）で示します。

１．〈福島大学の教育目標〉を理解していること

２．地域や社会の発展に貢献する志をもつこと

３．そのために，①選択した領域の専門知識，②問題を発見し探究する力，③広い教養と知的関心，④グローバルな視野，⑤主体的に多様な人々と協働する力，を自ら向上させようとする意欲があること

４．福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力，思考力・表現力・コミュニケーション能力，現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では，すべての学類の入学者選抜において，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下，「主体性等」）」の「学力の３要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 ＼ 評価方法	〈学力の３要素〉				
	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等	
	知識・技能	思考力・判断力	表現力	意欲・関心・態度（主体性）	協働性
大学入学共通テスト，個別学力検査	○	○			
実技（実績評価）	○		○		
小論文，課題論文，課題レポート	○	○	○		
総合問題	○	○			
口頭試問，面接	○	○	○	○	
集団討論		○	○		○
ポスタープレゼンテーション	○	○	○	○	
調査書				○	○
推薦書（学校）	○			○	
自己推薦書，志願理由書			○	○	

総合型選抜と学校推薦型選抜では，下表に記した方法で，学力の３要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類（芸術・表現コース）	小論文，面接，実技検査		面接
人間発達文化学類（スポーツ健康科学コース）	実技実績調査書（第1次選抜） 小論文，面接，実技実績評価（第2次選抜）	小論文，面接	面接
行政政策学類（夜間主）	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート（第1次選抜） 大学入学共通テスト（第3次選抜）	課題レポート（第1次選抜）	
		集団討論および面接（第2次選抜）	
共生システム理工学類	ポスター内容（第1次選抜） 総合問題（第2次選抜）	ポスター内容（第1次選抜）	志願理由書
	ポスタープレゼンテーション（第2次選抜）		
食農学類	自己推薦書（第1次選抜），課題論文（第2次選抜）		面接（第2次選抜）

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト，面接		面接
行政政策学類	調査書（評点），小論文	小論文，面接	面接
経済経営学類（A推薦）	調査書（評点），語学資格・検定基準	小論文，面接	面接
経済経営学類（B推薦）	調査書（評点），簿記検定試験の合格	小論文，面接	面接
共生システム理工学類	調査書（評点），小論文	小論文，面接	面接

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

１．人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では，生涯にわたる発達への支援や，人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて，学校はもちろんのこと，行政や企業，地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち，卒業までに次の４つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち，個々の事象を複数の観点から捉える力
・人や文化の多様性を理解し，共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
・学問固有の問いの立て方，ものの見方・考え方を身に付け，それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には，教育実践，心理学・幼児教育，特別支援・生活科学，芸術・表現，人文科学，数理自然科学，スポーツ健康科学の７つコースがあり，１年生の前期（第１セメスター）から各コースのいずれかに所属することになります。

２．入学試験の種類と内容

本学類では，次の入学試験を実施します。

［一般選抜・前期日程］募集人員 154 人
［一般選抜・後期日程］募集人員　12 人
［総合型選抜］　　募集人員　20 人
［学校推薦型選抜］　　募集人員　74 人

入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は，人間に対する理解だけでなく，高校で学んだ人文科学や社会科学，生活科学，数理科学，芸術，スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。

本学類では，以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力・実技能力
(2) 得意分野に関する優れた理解・技能（以下のうち１つ以上）
　・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
　・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
　・音楽や美術において優れた技量を有している。
(3) 教育・人間・文化・社会への問題意識，および人間発達支援に対する強い意志

〔行政政策学類〕

１．行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では，21 世紀の地域社会が直面している諸課題について，広く学際的な観点から学び，より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために，卒業までに次の５つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は，働きながら学ぶ人，様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し，調査・分析する能力
・発見し，調査・分析した諸課題につき，解決する能力
・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
・修得した知識・考察した結果を発表し，議論する能力

行政政策学類には，「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の２コースがあり，２年生の前期（第３セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

２．入学試験の種類と内容

本学類では，次の入学試験を実施します。

［昼間の一般選抜・前期日程］募集人員 108 人
　入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。
［昼間の一般選抜・後期日程］募集人員　35 人
　入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。
［昼間の学校推薦型選抜］　　募集人員　42 人
　調査書（全体の学習成績の状況（評定平均値）4.3 以上），志願理由書（「法・地域・行政・社会・文化に

ついて関心がある者」）提出を推薦要件とし，個別学力検査（小論文）と面接によって実施。
［夜間主の総合型選抜］　　募集人員　20 人
志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

21 世紀の地域社会が直面している諸課題について，広く学際的な観点から学び，より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために，以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力（以下のうち１つ以上）
・国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。
・上記科目のうち，いずれか３科目について，優れた知識を有している。

(2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力（以下のうち１つ以上）
・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
・政治，経済，社会的な問題などに関心を持ち，深く考察する態度
・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

〔経済経営学類〕

１．経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では，経済と経営の専門知識を身に付け，現代の経済社会を理解し，課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし，卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・経済学と経営学の専門知識
・エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
・フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
・グローバルに思考し実践に進む力
・キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には，「経済学コース」「経営学コース」の２コースがあり，２年生の後期（第４セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

２．入学試験の種類と内容

本学類では，次の入学試験を実施します。

［一般選抜・前期日程］　　募集人員 114 人
［一般選抜・後期日程］　　募集人員　40 人
［総合型選抜］　　募集人員　11 人
［学校推薦型選抜・Ａ推薦］　募集人員　25 人
［学校推薦型選抜・Ｂ推薦］　募集人員　25 人
［私費外国人留学生選抜］　　募集人員　 5 人

入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と，社会での実践力を大学において身につけるために，以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力
：国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。

(2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力

(3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲

(4) 得意分野に関する優れた学力・実績（学校推薦型選抜に該当）
：学校推薦型選抜では，上記の(1)・(2)・(3)に加え，以下の点を評価します。

● 学校推薦型選抜（以下のうち１つ以上）
Ａ推薦：英語等の外国語に関する優れた知識，ないし関連資格を有している。
Ｂ推薦：簿記に関連する優れた知識，ないし関連資格を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

１．共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では，21 世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき，人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で，卒業までに次の４点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
・論理的で的確な立案力と決定力
・学際的・国際的に実践する力
・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では，１年生で数学，物理学，化学，生物学，地球科学，プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに,「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システム的に捉える力を養います。２年生の前期（第３セメスター）から専門領域名を冠した９つのコース*の中から１つを選択して専門領域を深く学び，３年生の後期（第６セメスター）からは研究室に配属されて，演習や卒業研究を行います。

＊9 コース：数理・情報科学コース，経営システムコース，物理・システム工学コース，物質科学コース，エネルギーコース，生物環境コース，地球環境コース，社会計画コース，心理・生理コース

２．入学試験の種類と内容

本学類では４種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

［総合型選抜］募集人員 25 人

高等学校までの学習全般を含む総合問題，自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑，志願理由書および調査書により，高等学校の基礎的な学力，論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

［学校推薦型選抜］募集人員 23 人

小論文，面接，志願理由書および調査書により，基礎学力，理解力，論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が 4.0 以上の人を対象としており，高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

［３年次編入学］募集人員 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に，面接と提出書類（志願理由書，推薦書，調査書）により，本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち，学習意欲が高い人を選抜します。

［一般選抜］募集人員 前期日程 70 人，後期日程 42 人

理科１科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査，大学入学共通テスト（５教科７科目）および調査書により，基礎的な科目を広く習得し，理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために，以下に掲げる力を有している学生を求めます。

(1) 高校までに身につけるべき基礎学力
(2) 論理的な思考力
(3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
(4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

農学群

〔食農学類〕

１．食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では，食品産業や農林業の第一線で活躍することや，行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち，卒業までに次の４つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
・異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
・グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
・温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では，２年生の後期（第４セメスター）から，食品科学コース，農業生産学コース，生産環境学コース，農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは，次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

・食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに，地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
・農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病害虫管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより，安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。
・生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し，管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復や ICT 等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
・農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく，協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

２．入学試験の種類と内容

食農学類では期待する人材を求めて，４種類の入学試験を実施いたします。
それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

［一般選抜・前期日程］募集人員 60 人

大学入学共通テストの５教科７科目（国語，地理歴史・公民（１科目），数学（２科目），理科（２科目），外国語），個別学力試験の２科目（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ），英語から２科目選択）で実施。

［一般選抜・後期日程］募集人員 20 人

大学入学共通テストの５教科７科目（国語，地理歴史・公民（１科目），数学（２科目），理科（２科目），外国語），個別学力試験の１科目（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ），英語から１科目選択），および面接で実施。

［総合型選抜・地域社会貢献枠］募集人員概ね 10 人

自己推薦書と調査書によって第１次選抜を行い，第１次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第２次選抜を実施。

福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者，あるいは福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内か出身県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者で，指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

［総合型選抜・実践教育経験枠］募集人員概ね 10 人

自己推薦書と調査書によって第１次選抜を行い，第１次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第２次選抜を実施。

高等学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科），総合学科，あるいは中等教育学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科）を卒業見込みの者，または高等専門学校の第３学年を修了見込みの者で，農学を学ぶ強い意欲を持ち，かつ指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類での成長を実現するために，以下に掲げる力を有している学生を求めます。

(1) 高校までに身に付けるべき基礎学力
(2) 対象を的確に捉える理解力と分析力
(3) 論理的な思考力
(4) 自らの見解を的確に伝える表現力
(5) 常に食と農に関心を寄せる持続力

Ⅱ．募集人員等

学　　類	コ　ー　ス	募集人員
人間発達文化学類	芸術・表現コース	音楽 4 人 美術 4 人
	スポーツ健康科学コース	12 人
行政政策学類	夜間主　地域政策と法コース 夜間主　地域社会と文化コース	20 人
経済経営学類	経済学コース 経営学コース	11 人
共生システム理工学類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	25 人
食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	地域社会貢献枠 概ね 10 人 実践教育経験枠 概ね 10 人

【注意事項】

1　人間発達文化学類の総合型選抜の入学手続者が，募集人員に満たなかった場合，その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。

2　行政政策学類入学者の所属コースは，１年次後期に本人の希望を考慮して決定します。

３－１　経済経営学類の総合型選抜の入学手続者が，募集人員に満たなかった場合，その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。

３－２　経済経営学類入学者の所属コースは，２年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

４－１　共生システム理工学類の総合型選抜では，合格者が募集人員に満たない場合があります。
また，入学手続者数が募集人員に満たない場合でも追加合格は行いません。

４－２　共生システム理工学類の総合型選抜の入学手続者が，募集人員に満たなかった場合，その欠員は原則として一般選抜前期日程の募集人員に加えます。

４－３　共生システム理工学類入学者の所属コースは，１年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

５－１　食農学類の総合型選抜の入学手続者が，募集人員に満たなかった場合，その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。

５－２　食農学類入学者の所属コースは，２年次前期終了時に決定します。

Ⅲ. 出 願 資 格

〔人間発達文化学類〕

【芸術・表現コース】

音楽または美術において優れた技能を有する者とします。

音楽の分野は，声楽，ピアノ，管弦打楽器（試験に持参できるものに限る），作曲，指揮とします。

美術は，特に分野を限定しません。

【スポーツ健康科学コース】

次の種目において優れた技能を有し，全国大会（国民体育大会，全国高校総合大会，全国高校選手権大会等の競技会）またはブロック大会に出場し，プレーした者とします。

陸上競技，バレーボール，バスケットボール，サッカー，テニス（ソフトテニスは含まない），野球（男子），ソフトボール（女子），バドミントン，剣道，柔道，ハンドボール，トライアスロン

新型コロナウイルス感染拡大防止のためブロック大会以上の大会が中止された場合，その予選となる大会でブロック大会以上の出場に相当する成績であれば出願することができます。また，その予選となる大会も中止となった場合，代替大会等の成績がブロック大会以上の出場に相当する成績であれば出願することができます。

【両コース共通】

次の１から３のいずれかに該当するとともに，本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合，入学することを確約できる者とします。

１．高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和６年３月に卒業見込みの者

２．通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和６年３月に修了見込みの者

３．学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第６号を除く）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和６年３月31日までに修了見込みの者

④ 文部科学大臣の指定した者

⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和６年３月31日までに合格見込みの者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

⑥ 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

※出願資格３⑥により出願を希望する者については，個別審査を行いますので，本学所定の申請書に必要事項を記入し，必要書類を添えて，芸術・表現コースを希望する場合は令和５年９月28日㈭〔午後５時必着〕まで，スポーツ健康科学コースを希望する場合は令和５年９月７日（木）〔午後５時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については，本学入試課へ問い合わせるか，本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）を参照してください。

〔行政政策学類　夜間主〕

下記の【大学入学資格を有する者】のうち，次の１と２のいずれかに該当した上で，本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意志を持ち，合格した場合，入学することを確約できる者とします。

１．令和６年３月31日現在，年齢が満22歳に達している者（平成14年４月１日に生まれた者を含む）

２．令和６年３月31日現在，年齢が満22歳に達していない者で，出願時に就職している者（主婦（主夫）業を含む），就職が内定している者，または入学後に就業しながら修学する意思を確約できる者

なお，就職・就業にはアルバイト，パート等を含み，労働時間が週平均20時間以上のものに限ります。

【大学入学資格を有する者】とは次のいずれかに該当する者をいいます。

⑴　高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和６年３月に卒業見込みの者

⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和６年３月に修了見込みの者

⑶　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第６号を除く）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）

①　外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者

③　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和６年３月31日までに修了見込みの者

④　文部科学大臣の指定した者

⑤　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和６年３月31日までに合格見込みの者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

⑥　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

※出願資格⑶⑥により出願を希望する者については，個別審査を行いますので，本学所定の申請書に必要事項を記入し，必要書類を添えて，令和５年９月28日（木）〔午後５時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については，本学入試課へ問い合わせるか，本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）を参照してください。

なお，夜間主に入学しても，在留資格「留学」は得られないことに注意してください。また，夜間主では，教員免許の取得はできません。

〔経済経営学類〕

次の１から３のいずれかに該当するとともに，本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合，入学することを確約できる者とします。

１．高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和６年３月に卒業見込みの者

２．通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和６年３月に修了見込みの者

３．学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第６号を除く）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和６年３月31日までに修了見込みの者

④ 文部科学大臣の指定した者

⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和６年３月31日までに合格見込みの者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

⑥ 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

※出願資格３⑥により出願を希望する者については，個別審査を行いますので，本学所定の申請書に必要事項を記入し，必要書類を添えて，令和５年７月31日（月）〔午後５時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については，本学入試課へ問い合わせるか，本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）を参照してください。

なお，総合型選抜に出願した者が本学類の学校推薦型選抜に出願した場合は，総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。

〔共生システム理工学類〕

次の１から３のいずれかに該当するとともに，本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合，入学することを確約できる者とします。

１．高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和６年３月に卒業見込みの者

２．通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和６年３月に修了見込みの者

３．学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第６号を除く）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和６年３月31日までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和６年３月31日までに修了見込みの者

④ 文部科学大臣の指定した者

⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む）および令和６年３月31日までに合格見込みの者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

⑥ 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年３月31日までに18歳に達する者（平成18年４月１日に生まれた者を含む）

※出願資格３⑥により出願を希望する者については，個別審査を行いますので，本学所定の申請書に必要事項を記入し，必要書類を添えて，令和５年７月31日（月）〔午後５時必着〕までに提出してください。個別審査の申請に必要な書類については，本学入試課へ問い合わせるか，本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）を参照してください。

〔食農学類〕

地域社会貢献枠

次の１から４のすべてに該当する者とします。

１．高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和６年３月に卒業見込みの者，または高等専門学校の第３学年を修了見込みの者

２．福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内もしくは出身県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者

３．本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意志を持ち，合格した場合は入学することを確約できる者

４．以下のいずれかを取得している者

① 実用英語技能検定準２級以上

以下の検定結果でも可

CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）Ａ２とし

ＩELTS 3.0以上，TEAP 150以上，GTEC 690以上，GTEC CBT 510以上，

TOEＩC　L&R　S&W 385以上（L&R 225以上，S&W 160以上）など

② 実用数学技能検定２級以上

③ 上記同等，同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス１級など）（注）

実践教育経験枠

次の１から３のすべてに該当する者とします。

１．高等学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科），総合学科もしくは中等教育学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科）を令和６年３月に卒業見込みの者または高等専門学校の第３学年を修了見込みの者で，農学を学ぶ強い意欲を持つ者

２．本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意志を持ち，合格した場合は入学することを確約できる者

３．以下のいずれかを取得している者

① 実用英語技能検定準２級以上

以下の検定結果でも可

CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）Ａ２とし

ＩELTS 3.0以上，TEAP 150以上，GTEC 690以上，GTEC CBT 510以上，

TOEＩC　L&R　S&W 385以上（L&R 225以上，S&W 160以上）など

② 実用数学技能検定２級以上

③ 日本農業技術検定３級以上

④ 日本商工会議所簿記検定２級以上

⑤ 上記同等，同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス１級など）（注）

（注）「上記同等，同等以上の資格」については，本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）に掲載している別紙を参照してください。

Ⅳ. 出 願 手 続

１．出願方法の確認（Step１）

出願手続については，本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録（下記 Step２）だけでは出願手続は完了しません。

Step１	出願方法の確認 （13～14 ページ参照）	出願手続を始める前に，この学生募集要項をよく読んで，内容を確認してください。
▼		
Step２	インターネット出願登録 （14 ページ参照）	出願登録期間内に，インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
▼		
Step３	検定料の支払い （14～15 ページ参照）	インターネット出願サイトの指示に従い，検定料を支払ってください（検定料免除申請を行う場合は支払わないでください）。
▼		
Step４	必要書類の作成・印刷・送付 （15～18 ページ参照）	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と，他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「一般書留速達」で郵送してください。
▼		
Step５	受験票の印刷 （18 ページ参照）	出願が受理された方は，出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して，必ず試験当日に持参してください。

２．事前準備（Step１）

インターネット出願登録の前に，あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は，以下の環境で行ってください。 〈Windows〉 ・Microsoft Edge（最新バージョン） ・Google Chrome（最新バージョン） ・Firefox（最新バージョン） 〈Mac OS〉 ・Safari（最新バージョン） 〈Android 11.0 以上〉 ・Android Chrome（最新バージョン） 〈iOS 14.0 以上〉 ・Safari（最新バージョン） ※最新バージョン以外でも利用することはできますが，正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。また，その場合は最新バージョンへアップデートしてご利用ください。

メールアドレスの準備およびメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので，事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン，携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお，ドメイン指定受信を設定されている方は，次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 **(@adb.fukushima-u.ac.jp, @postanet.jp)** 出願時に登録したメールアドレスに，以下の４～５回メールが送信されます。 ① インターネット出願登録入力中のテストメール ② 出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③ 検定料支払完了時の自動送信メール（検定料免除申請を行う場合は送信されません） ④ 顔写真が承認または非承認された際のメール ⑤ 受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※受験票を印刷するまで，メールアドレスは変更しないでください。
入学志願者本人写真（データ）の準備	インターネット出願登録にあたって，カラーの顔写真データ（jpg）が必要です（受験票に顔写真が掲載されることになります）。 写真は本人確認に使用しますので，インターネット出願サイトにて出願前３か月以内に正面向，上半身，脱帽，背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦４㎝×横３㎝，ファイルサイズは３ＭＢまでです。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような，本人確認に支障のある写真の場合は，出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明，背景が暗い，顔が横向き，化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難，複数名で写っている，画像に加工を施している，<u>現像された写真を再撮影しているもの</u>等。
必要書類等の準備	「７．出願書類等」（15～17 ページ参照）記載の書類を，出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。
出願書類提出用封筒の準備	出願書類提出のために，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）を準備してください。 ※共生システム理工学類入学志願者は，ポスターが入る封筒であれば，封筒のサイズは問いません。
様式印刷の準備（プリンタ，印刷用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は，Ａ４サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので，カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば，公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが，個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は，本人に問い合わせをする場合があります。

３．インターネット出願登録期間（Step２）

人間発達文化学類	**芸術・表現コース**	**令和５年10月28日(土)～11月２日(木) 午後４時30分まで**
	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学ｺｰｽ	**令和５年10月８日(日)～10月13日(金) 午後４時30分まで**
行政政策学類 夜間主		**令和５年10月15日(日)～10月20日(金) 午後４時30分まで**
経済経営学類		**令和５年９月10日(日)～９月15日(金) 午後４時30分まで**
共生システム理工学類		**令和５年８月30日(水)～９月６日(水) 午後４時30分まで**
食農学類		**令和５年９月23日(土)～９月28日(木) 午後４時30分まで**

４．検定料の支払い（Step３）

検定料は**人間発達文化学類・経済経営学類・共生システム理工学類・食農学類は 17,000 円（行政政策学類 夜間主のみ 10,000 円）**です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して，「クレジットカード」「コンビニエンスストア」「ペイジー（ネットバンキング・銀行ＡＴＭ）」のいずれかの方法で払い込んでください（払込手数料が別途必要です）。

【払込期間】

人間発達文化学類	**芸術・表現コース**	**令和５年10月28日(土)～11月２日(木) 午後４時30分まで**
	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学ｺｰｽ	**令和５年10月８日(日)～10月13日(金) 午後４時30分まで**
行政政策学類 夜間主		**令和５年10月15日(日)～10月20日(金) 午後４時30分まで**
経済経営学類		**令和５年９月10日(日)～９月15日(金) 午後４時30分まで**
共生システム理工学類		**令和５年８月30日(水)～９月６日(水) 午後４時30分まで**
食農学類		**令和５年９月23日(土)～９月28日(木) 午後４時30分まで**

支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む４日間です（出願締切が４日より短い場合，出願締切が優先されます）。

出願書類を受理した後は，いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

ア．検定料を払い込んだが，出願しなかった（出願書類を提出しなかった，または出願が受理されなかった）

イ．検定料を誤って二重に払い込んだ

ウ．出願期間終了までに，検定料免除に該当することを証明する書類を取得できなかったものの，出願期間終了後に取得した

※人間発達文化学類スポーツ健康科学コース，経済経営学類，共生システム理工学類，食農学類の第１次選抜不合格者に対しては，本人の請求に基づき，13,000 円を返還します。

なお，請求方法等については，該当者へ個別に通知します。

検定料返還に関する問い合わせ先：福島大学財務課出納係
Tel:024－548－8015

※検定料免除について

本学では，令和５年度に行われる全ての入試において，検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については 29 ページの「Ⅻ．東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

検定料免除申請を行う場合は，出願時に検定料を払い込まないでください。

５．出願期間（Step４）

人間発達文化学類	**芸術・表現コース**	**令和５年10月30日(月)～11月２日(木) 午後５時まで**
	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学ｺｰｽ	**令和５年10月10日(火)～10月13日(金) 午後５時まで**
行政政策学類 夜間主		**令和５年10月17日(火)～10月20日(金) 午後５時まで**
経済経営学類		**令和５年９月12日(火)～９月15日(金) 午後５時まで**
共生システム理工学類		**令和５年９月１日(金)～９月６日(水) 午後５時まで**
食農学類		**令和５年９月25日(月)～９月28日(木) 午後５時まで**

６．出願書類提出先（Step４）

福島大学入試課　　〒960－1296　福島市金谷川１番地　Tel:024－548－8064

７．出願書類等（Step４）

入学志願者は，次表の１～５の書類および志願学類指定書類を取り揃え，**一般書留速達で郵送してください。**出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし，「５．出願期間」で定める出願期間最終日前日の発信局消印のある一般書留速達に限り，期限後に到着した場合でも受理します。**出願期間最終日当日の発信局消印の一般書留速達は，受理しません。**（出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため）

持参の場合，入試課の窓口受付時間は平日の午前９時から午後５時までです。

出願に必要な書類	摘　　要
１．入学志願票（◇） 【全員提出】	インターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷してください。
２．調査書 【全員提出】	高等学校長，中等教育学校長または高等専門学校長が作成したもの（開封無効）。高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格（見込み）者は，調査書に代えて，合格成績証明書（合格見込みの者は，合格見込成績証明書）を提出してください。なお，高等学校等において一部科目を修得し免除された者は，在学期間中の調査書または成績証明書も提出してください。

３．検定料免除申請書（◆） および添付書類 【※申請者のみ提出】	本学所定の様式 なお，検定料免除申請を行う場合は，出願時に検定料を払い込まないでください。
４．出願書類提出用封筒 【全員提出】	各自で準備した市販の角形２号（240mm×332mm）の封筒に，上記１～３の必要書類で該当するものおよび志願学類指定書類を封入し，一般書留速達で郵送してください。 ※共生システム理工学類の入学志願者は，ポスターが入る封筒であれば，封筒のサイズは問いません。
５．出願書類提出用宛名シート（◇） 【全員提出】	インターネット出願サイトからカラーで印刷し，「４．出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し，宛名シートの出願者チェック欄において，出願書類に漏れがないことをチェックしてください。
【人間発達文化学類 入学志願者のみ】上記１～５に加えて以下のもの	
①　自己推薦書（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの（自筆のみ）。 ※芸術・表現コースの入学志願者は，新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった，参加予定だったコンクールあるいは出品予定だった展覧会にむけての努力のプロセスを，裏面「２．特技に関する自己 PR を記入してください」の記載に含めてください。実技実績調査書記載の提出資料とあわせて評価します。
②　実技実績調査書（◆） および添付書類	本学所定の様式 記載内容および添付書類については，記入要領を参考に作成してください。
【行政政策学類 夜間主 入学志願者のみ】上記１～５に加えて以下のもの	
①　志願理由書 （Ａ票およびＢ票）（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
②　就職を証明する書類または入学後に就業しながら修学する意思を確認する書類 ※満22歳に達している者は提出不要	⑴　就職している者 就職し，週平均 20 時間以上労働していることを証明する次のいずれかの書類 ①　在職証明書（勤務時間，勤務日数等が明記されており，週 20 時間以上の労働が確認できること。作成例を本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）からダウンロードできます。） ②　給与明細書の写し（健康保険料・厚生年金掛金等が控除されていること） ③　源泉徴収票の写し（社会保険料等の金額が入っていること） ④　健康保険証の写し（主婦（主夫）業の場合は被扶養者の記載でも可） ⑤　所得証明書または確定申告書の写し（自営業者の場合） ⑵　就職が内定している者 就職が内定し，週平均 20 時間以上労働することを証明する次のいずれかの書類 ①　内定証明書（勤務時間，勤務日数等が明記されており，週 20 時間以上の労働が確認できること。作成例を本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）からダウンロードできます。） ②　労働条件通知書や雇用契約書 ⑶　⑴，⑵の証明が困難な者で，今後就職活動を行い，入学後に週平均 20 時間以上就業しながら修学する意思がある者 入学後に週平均 20 時間以上就業しながら修学する意思を確認する書類（就職意思確認書。作成例を本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）からダウンロードでき

	ます。） ※ただし，本書類で出願が認められ，合格した者は，前記の⑴または⑵にあたる書類を今年度内に改めて提出することが求められます。
【経済経営学類 入学志願者のみ】15～16 ページ記載の１～５に加えて以下のもの	
①　課題図書に基づくレポート（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
②　志願理由書（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
【共生システム理工学類 入学志願者のみ】15～16 ページ記載の１～５に加えて以下のもの	
①　志願理由書（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
②　ポスター	以下の課題の１つを選択し，24～25 ページのアドバイスを参考に，以下の様式により作成してください。 課題Ａ：現在，我々が直面する人－産業－環境を取り巻く様々な問題を解決するために，我々はどのような取り組みをすれば良いでしょうか？あなたの関心のある問題を１つ課題設定し，問題解決に向けた独自のアイディアを含む提案を，ポスター１枚にわかりやすくまとめてください。 課題Ｂ：あなたが関心を持って行った理工学的テーマについての調査・研究・開発（製作）を，ポスター１枚にわかりやすくまとめてください。科学的な新しさ，または社会的貢献の可能性を含む課題設定を求めます。 ○サイズ：模造紙サイズ（788 ㎜×1,091 ㎜） ○用紙の材質・色およびポスターの縦横ならびに文字等の数・大きさ，写真等の貼付け等は自由とします。 ○ポスターの裏面に住所，氏名，学んでみたいコース名および課題Ａ・Ｂのどちらを選択したかを記載し，封筒に入る大きさに折りたたんで出願してください。封筒は，ポスター等が入る大きさのものを各自で準備してください。 ○出願書類提出後の，ポスターの差し替えはできません。
【食農学類 入学志願者のみ】15～16 ページ記載の１～５に加えて以下のもの	
①　自己推薦書（◆）	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの（自筆のみ）。
②　取得資格を確認できる書類	出願資格のうち，実用英語技能検定準２級以上等の取得資格を確認できる書類の写し。

８．出願書類作成上の注意事項（Step４）

⑴　表中の「◇」印の書類は，インターネット出願登録後にインターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷する書類です。インターネット出願登録完了後は，登録内容の修正はできませんので，誤入力のないよう注意してください。

⑵　表中の「◆」印の書類は，本学ウェブサイトから様式をＡ４サイズでモノクロ印刷（複数ページの場合は両面印刷）して作成する書類です。
（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html））
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い，楷書で記入してください。自筆作成の指定がない書類は，パソコンによる作成も可です。

⑶　押印が必要な書類もありますので注意してください。

⑷　誤って記入した場合は，誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。

⑸　廃校，被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は，卒業証明書および成績証明書（成績通信簿）を提出してください。また，成績証明書も得られない場合には，調査書・成績証明書が発行できない旨の証明書（出身学校長が作成したもの）を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し，切手を貼り付けて，出願書類に同封してください。また，これらの卒業証明書等が整わない場合には，本学入試課へ問い合わせてください。

⑹　出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。

①　入学志願票等に，記入漏れまたは誤記入があるもの

②　出願書類として添付が必要な証明書等が，同封されていないもの

⑺　**出願書類受理後，出願の取り消し，書類の返却および志望等の変更（志望学類・コース等，個別学力検査選択科目，音楽実技検査選択科目等）は認めません。**

⑻　出願書類について虚偽の記載があった場合は，入学を取り消すことがあります。

⑼　証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は，同一人であることが分かる公的な証明書（戸籍抄本等）を別途提出してください。

９．受験票の印刷について（Step５）

受験票は，出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。**カラー印刷し**，切り取り線に沿ってはさみで切り，**試験当日に必ず持参してください。**

出願時に登録されたメールアドレスへ，受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが，プロバイダによりメールが届かない場合でも，試験日の３日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

10. 出願状況についての情報提供

本学ウェブサイトの「入試情報」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/)に出願状況等を掲載します。

Ⅴ．障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で，受験上および修学上の配慮を必要とする場合は，出願の１か月前までに本学入試課に申し出てください。

<u>○人間発達文化学類，共生システム理工学類および食農学類への志願の際の注意事項</u>

言語，視覚，聴覚および運動機能に障がいのある者は，障がいの程度によっては教育課程の履修が困難な場合がありますので，これらの障がいを持つ者で不安がある者は，できるだけ早い時期に本学入試課まであらかじめ問い合わせた上で出願してください。

Ⅵ. 選 抜 方 法

〔人間発達文化学類〕

１．芸術・表現コース（音楽４人，美術４人）

小論文（100 点満点），面接（自己推薦書，実技実績調査書，出願時に提出した作品の評価を含む。100 点満点），実技検査（100 点満点）の成績の総合点により判定します。ただし，小論文，面接，実技検査のうちいずれかの得点が一定の点数（30 点）に達しない者は，合格者とはなりません。なお，出願書類は面接の資料として利用します。

小 論 文 ：芸術や文化についての資料を与え，1,000 字程度で論述させ，論述能力をみるとともに，芸術・文化に対する知識や関心などを総合的にみます。

実技検査：音楽は，専門として出願した分野が演奏（声楽，ピアノ，管弦打楽器）の場合はあらかじめ出願者が準備した任意の曲（複数も可）を演奏し（声楽，ピアノは暗譜），作曲および指揮の場合は，和声課題（四声体）を解答させます。その結果をもとに，広い観点から，音楽性，技術性，芸術性，可能性などを判断します。美術は，以下の２問の中から出願時にあらかじめ受験者が１問を選択します。

① 素描（鉛筆または木炭によるデッサン）：形態把握力，質感表現力，色彩感覚，構成力等を含めた総合的な表現力をみます。

② 立体造形（塑造）：構築性，質感表現力，量感表現力，発想力等を含めた総合的な表現力をみます。

面　　接 ：出願書類に基づいて，過去の実技実績や芸術文化に関する活動内容等を評価し，専門領域への関心や意欲をみます。音楽は，過去の実技実績，すなわち演奏や発表の実績（演奏，発表，受賞）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料，作品や演奏の録音・録画などの記録の提出を求めます。美術は，過去の実技実績（制作した作品や展覧会，コンクール等での発表活動）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料（写真やコピー）提出を求めます。

実技検査の持参品

・素　　描：鉛筆デッサンの場合・・・鉛筆，消し具，カッターナイフ
　　木炭デッサンの場合・・・木炭，消し具，パン，ガーゼ，芯抜き

・立体造形：鉛筆，消し具，カッターナイフ，粘土ベラ

【選抜日程】

試　験　日	時　　間	試験科目等
令和５年 11 月 15 日(水)	９：00～10：30	小論文
	11：00～12：30　終了予定	実技検査
	13：30～17：00　終了予定	面接

２．スポーツ健康科学コース（スポーツ 12 人）

入学者の選抜は，第１次選抜，第２次選抜により行います。

＜第１次選抜＞

自己推薦書，実技実績調査書を総合して選抜します。

なお，入学志願者が 24 人を超えない場合には，第１次選抜を実施せず，第２次選抜のみとします。

その際は,10 月 26 日(木)に本学ウェブサイトの「入試情報」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/)に掲載します。

【第１次選抜合格発表】

令和５年 10 月 26 日(木)午前 11 時に本学ウェブサイトの「入試情報」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に受験番号を掲載するとともに，本人あてに通知します。

＜第２次選抜＞

第１次選抜合格者に対して，小論文（100 点満点），面接（自己推薦書，高等学校等で学習した基礎的な内容についての口頭試問を含む。100 点満点），実技実績調査書（100 点満点）の成績の総合点により選抜します。ただし，小論文または面接の得点が一定の点数（30 点）に達しない者は，合格者とはなりません。

なお，１種目の合格者数は募集人員の半数を超えないものとします。また，出願書類は面接の資料として利用します。

小　論　文：スポーツや健康についての資料を与え，1,000 字程度で論述させ，スポーツや健康に対する論理的思考力を総合的にみます。

面　　接：出願資料に基づいて，スポーツに関する基礎的な知識と生涯にわたってスポーツに携わっていくことへの意欲や関心,出場予定だった大会に向けての努力のプロセスを総合的にみます。また，高等学校で学習した基礎的内容についての口頭試問を行い，基礎的学力をみます。

実技実績調査書：競技実績に基づいて評価します。

【選抜日程】

試　験　日	時　　間	試験科目等
令和５年 11 月 15 日(水)	９：00～10：30	小論文
	12：00～17：00　終了予定	面接

〔行政政策学類　夜間主〕

志願理由書に基づいた口頭試問（100点）を行い，問題意識や勉学意欲等を総合的にみます。また口頭試問では，志望動機に関してはＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄで評価を行い，Ｄ評価の場合には口頭試問の得点如何にかかわらず不合格となります（Ｄ評価とは基準を満たさないと判断された場合を言います）。なお，調査書（もしくは成績証明書等）は判定の基礎資料として利用します。

【選抜日程】

試　験　日	時　　間	試験科目等
令和５年11月25日（土）	集合時間は，試験日の２週間前までに本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。	口頭試問

〔経済経営学類〕

入学者の選抜は，第１～３次選抜により行います。

１．第１次選抜

書類審査。課題図書に基づくレポート（２冊程度を事前に以下ウェブサイトに掲載します）と志願理由書によって，20 人程度を選抜します（100 点満点）。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。なお，入学志願者が 20 人を超えない場合にも書類審査によって第１次選抜合格者を決定します。

課題図書の掲載場所:本学ウェブサイト(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/)の「重要なお知らせ」

【第１次選抜合格発表】

令和５年 10 月 12 日（木）午前 11 時に本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に受験番号を掲載するとともに，本人あてに通知します。

２．第２次選抜

第１次選抜合格者には，課題図書にもとづく集団討論（100 点満点），および志願理由書にもとづく面接試験（100 点満点）を行い，募集人員程度を選抜します。経済経営学類のアドミッション・ポリシーにおける「入学者選抜の際に求める知識・技能・関心」の観点から総合的に評価します。

【第２次選抜日程】

試　験　日	時　　間	試験科目等
令和５年 12 月２日（土）	第１次選抜合格者への通知の際にお知らせします。	集団討論
		面接試験

【第２次選抜合格発表】

令和５年 12 月７日（木）午前 11 時に本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に受験番号を掲載するとともに，本人あてに通知します。

第２次選抜に合格された方は，令和６年度大学入学共通テスト受験票（写し）と成績請求票（原本）を，後日お知らせする締め切りまでに福島大学入試課へ郵送してください。詳細は，合格通知書に同封する書類をご確認ください。

３．第３次選抜

第２次選抜合格者の中で，大学入学共通テストの指定する科目のうち，３つの教科グループ《国語･外国語》《地歴，公民》《数学（簿記･情報を含む）》のうち２つにおいて，60 点（100 点満点，なお「国語」「外国語」は 200 点満点を 100 点に圧縮して利用しますが，このうち「英語」においては「リーディング」100 点満点を 80 点に「リスニング」100 点満点を 20 点にそれぞれ圧縮して用い，「リスニング」を免除された場合は「リーディング」100 点満点をそのまま用います）以上の科目がある者を最終合格者とします。教科ごとの科目指定は下記のとおりです。

・国語：国
・外国語：英，独，仏，中，韓
・地歴，公民：世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫政経
・数学：数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報

なお，過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。今年度の大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【経済経営学類　大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表】

受験予定の教科・科目が，経済経営学類が課す２つの教科グループに入っているか，各自で必ずチェックして出願してください。

（注：確認の際には，22ページで受験を要する教科等をよく確認してください）

なお，この表は提出する必要はありません。

<table>
<tr><th>学類</th><th>教科名</th><th>科目名</th><th>←受験予定の科目が入っている教科グループに☑をつける</th><th>←☑をつけた教科グループが２つ以上あれば☑をつける</th></tr>
<tr><td rowspan="14">経済経営学類</td><td>国語</td><td>国語</td><td rowspan="6">☐</td><td rowspan="13">☐</td></tr>
<tr><td rowspan="5">外国語</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>ドイツ語</td></tr>
<tr><td>フランス語</td></tr>
<tr><td>中国語</td></tr>
<tr><td>韓国語</td></tr>
<tr><td rowspan="9">地理歴史，公民</td><td>世界史Ａ</td><td rowspan="9">☐</td></tr>
<tr><td>世界史Ｂ</td></tr>
<tr><td>日本史Ａ</td></tr>
<tr><td>日本史Ｂ</td></tr>
<tr><td>地理Ａ</td></tr>
<tr><td>地理Ｂ</td></tr>
<tr><td>現代社会</td></tr>
<tr><td>倫理</td></tr>
<tr><td>政治・経済</td></tr>
<tr><td>倫理，政治・経済</td></tr>
<tr><td rowspan="6">数学</td><td>数学Ⅰ</td><td rowspan="6">☐</td></tr>
<tr><td>数学Ⅰ・数学Ａ</td></tr>
<tr><td>数学Ⅱ</td></tr>
<tr><td>数学Ⅱ・数学Ｂ</td></tr>
<tr><td>簿記・会計</td></tr>
<tr><td>情報関係基礎</td></tr>
<tr><td colspan="3">注意）理科は経済経営学類総合型選抜では用いません。</td><td colspan="2">【最終確認】
上記３つの教科グループ《国語･外国語》《地歴，公民》《数学（簿記･情報を含む）》のうち２つ以上のグループに☑がはいっていますか？
＊出願してから受験科目が不足していることが判明すると，総合型選抜には合格できません。</td></tr>
</table>

〔共生システム理工学類〕

入学者の選抜は，第１次選抜，第２次選抜により行います。

１．第１次選抜

出願時に提出されたポスターおよび出願書類を総合的に評価し，60人程度を第１次選抜合格者とします。なお，入学志願者が60人を超えない場合には，第１次選抜を実施せず，第２次選抜のみとします。

その際は，９月11日(月)に本学ウェブサイトの「入試情報」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/)に掲載します。

ポスター評価基準：課題設定の適切さ，知識，独創性，分析力，論理展開の正しさ，表現力等を評価します。印刷したものであるか，手書きであるか自体は評価に影響しません。

【第１次選抜合格発表】

令和５年９月20日（水）午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に受験番号を掲載するとともに，本人あてに通知します。

２．第２次選抜

第１次選抜合格者には，総合問題，ポスター口頭説明および質疑応答を課し，総合的に評価し選考します。

〇総合問題

高等学校（中等教育学校後期課程含む）までの学習全般を範囲とした問題を出します。

〇ポスター口頭説明および質疑応答

選択した課題について，出願時のポスターを用い，５分程度で説明してください。その後，面接員との質疑応答を実施します。課題設定の適切さ，課題に対する理解，知識，独創力，分析力，論理展開の正しさ，表現力ならびにコミュニケーション能力等を評価します。ポスター口頭説明および質疑応答では，発表原稿等，手持ち資料の持ち込みは認めません。提出したポスターのみを用いてください。

【選抜日程】

試　験　日	時　　間	試験科目等
令和５年９月30日（土）	10：00～11：30	総合問題
	13：00～17：00　終了予定	ポスター口頭説明および質疑応答

３．その他

共生システム理工学類総合型選抜のポスターの利用について

本学では，オープンキャンパスでの共生システム理工学類総合型選抜説明会会場において，高い評価を得たポスターを数点展示します。また，希望者に入試課窓口でのこれらの閲覧（写真撮影・コピー不可）を許可します。展示や閲覧の際には，氏名等を伏せた上で提出されたポスターを利用する場合がありますので，あらかじめご了承ください。

【参考】

●　ポスター作製上のアドバイス　●

共生システム理工学類の総合型選抜に出願するポスターを作製する際は，次に挙げる点に留意してください。

○　この入試でいう「ポスター」には，「出願者が着目した現代社会における問題に対する独自のアイディアを含む提案【課題Ａ】」，あるいは「出願者の調査・研究・開発（製作）【課題Ｂ】」について，提案または結論のみならず，そこに至るまでの道筋が明確に読み取れることが求められます。そのため，文章や図，グラフ，写真，表などを用いて，詳しくかつわかりやすく表現されたポスターが期待されます。このようにここでいう「ポスター」は，美術の授業等で作製するような，いわゆる広報用ポスター（例えば交通安全や虫歯予防などを呼びかける標語ポスター）ではないことに十分注意してください。

○　第２次選抜の口頭説明の際には，面接員はポスターを３ｍ程度離れた位置から見ることになります。このため，文字の大きさは少なくとも高さ20㎜程度必要となります。

○　説明のために必要な図表等を書籍やホームページなどから引用した場合は，必ず，出典を明示してください。

○　24ページの「ポスター評価基準」をよく読み，作製したポスターからそれぞれの評価項目が読み取れることを確認してから出願することを，強く勧めます。

〔食農学類〕

入学者の選抜は，第１次選抜，第２次選抜により行います。

１．第１次選抜

書類選考とします。

以下の書類により，熱意と適性の評価を行います。

・自己推薦書（本学様式）

・調　査　書（食農学類への適性を判断するため使用）

【第１次選抜合格発表】

令和５年10月12日（木）午前11時に本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に受験番号を掲載するとともに，本人あてに通知します。

２．第２次選抜

第１次選抜合格者に対して，課題論文を課すとともに面接を実施し，総合的に評価します。

（課題論文）

地域社会貢献枠：農学と地域社会のつながりに関する配付資料について，800字以内の論述を求め，理解力，思考力，表現力を総合的に評価します。

実践教育経験枠：農学に関する配付資料について，自分自身の経験と関連付けた800字以内の論述を求め，理解力，思考力，表現力を総合的に評価します。

（面　接）

地域社会貢献枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。地域社会での経験や関心を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し，基礎学力，勉学への積極性，コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

実践教育経験枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。実践教育の経験を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し，基礎学力，勉学への積極性，コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

【選抜日程】

試　験　日	時　　間	試験科目等
令和５年11月４日（土）	10：00～11：30	課題論文
	13：00～17：00　終了予定	面　　接

すべての学類について，試験場は福島大学（福島市金谷川１番地）となります。

本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験室および控室等については，試験当日，受験に関する掲示板に掲示します。

Ⅶ. 合格者発表

人間発達文化学類	**令和５年11月24日（金）**	**午前11時**
行政政策学類　夜間主	**令和５年12月７日（木）**	**午前11時**
経済経営学類	**令和６年２月８日（木）**	**午前11時**
共生システム理工学類	**令和５年11月１日（水）**	**午前11時**
食農学類	**令和５年11月９日（木）**	**午前11時**

合格者の発表は本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に受験番号を掲載します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続等を記載した「入学手続の手引き」を郵送します。電話等による合否の問い合わせには応じません。合格者発表当日は，インターネット回線が混雑するため，つながりにくい場合があります。

Ⅷ. 入 学 手 続

１．入学手続について

合格者は，下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は，合格者に送付する「入学手続の手引き」を確認してください。

令和５年12月８日（金）～15日（金）午後４時必着

（経済経営学類のみ 令和６年２月９日（金）～16日（金）　午後４時必着）

（注）１．指定期日までに入学手続を完了しない場合は，合格者としての権利を失います。

２．入学手続が完了した後は，他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く）を受験しても合格者となりません。

※公立大学協会のウェブサイト（https://www.kodaikyo.org/）参照

２．入学辞退者の取扱い

原則として，総合型選抜に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし，特別な事情により入学を辞退する場合には，令和５年12月15日（金）まで（経済経営学類のみ令和６年２月16日（金）まで）に「入学辞退願」（様式は任意）を提出してください。

３．入学時の大学への納入金

入学料（予定額）	人間発達文化学類 経済経営学類 共生システム理工学類 食農学類	行政政策学類　夜間主
	282,000円	141,000円

（注）１．上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

２．入学手続完了後に，入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む）は，入学料の返還はできません。

（参考）１．授業料について

授業料は，入学後に口座引落により納入していただきますので，入学時に納入する必要はありません。なお，授業料の金額（予定額）は次表のとおりです。授業料の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

授業料（予定額）	人間発達文化学類 経済経営学類 共生システム理工学類 食農学類	行政政策学類　夜間主
	前期分　267,900円 後期分　267,900円 合計（年額）　535,800円	前期分　133,950円 後期分　133,950円 合計（年額）　267,900円

２．諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」「校友会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

４．入学料・授業料の減免について

非課税世帯およびそれに準ずる世帯の方は，日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）によって，家計の所得に応じた支援区分で入学料，授業料が減免されます。また，支援区分ごとの奨学金が毎月給付されます。

その他，激甚災害に遭われた方で，修学支援新制度の対象とならない方には，家計を確認したうえで入学料，授業料が減免される本学独自の制度があります。

Ⅸ．不正行為の禁止について

⑴ 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，電子辞書，ICレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は，不正行為となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，不正行為については，警察に被害届を提出する場合があります。

⑵ 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に，次のものを使用してはいけません。

① 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く），電子辞書，IC レコーダー等の電子機器類

※携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※試験時間中,病気･負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は,受験上の配慮申請が必要です。

② 下敷，コンパス，定規等の補助具

※これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

Ⅹ．入試情報の公開（開示）について

１．試験問題等の公開について

人間発達文化学類の小論文および食農学類の課題論文については，問題および出題意図を，共生システム理工学類の総合問題については，問題および解答例を合格者発表後に公開します。

２．入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績，出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

① 開示期間　　令和６年５月７日（火）～５月31日（金）

② 開示方法　　令和６年４月上旬，本学ウェブサイトに掲載します。

https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html

③ 開示内容

ア．個人成績について

人間発達文化学類	芸術・表現コース	小論文，面接，実技検査の成績
	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学ｺｰｽ	第１次選抜：自己推薦書，実技実績調査書の総合点 第２次選抜：小論文，面接，実技実績調査書の成績
行政政策学類 夜間主		口頭試問の成績
経済経営学類		書類審査，集団討論，面接試験の成績の総合点
共生システム理工学類		第１次選抜：ポスターの成績 第２次選抜：総合問題，ポスター口頭説明および質疑応答の成績
食農学類		課題論文および面接の成績

イ．調査書については，「指導上参考となる諸事項」，「総合的な探究の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知表と同等のもの）

Ⅺ．入学志願者の個人情報保護について

本学では，提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき，下記の目的でのみ利用し，その保護に努めます。

○ 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む）に利用します。
○ 入学手続に関する業務に利用します。
○ 入学手続完了者にあっては，入学後の修学指導業務および学生支援業務，授業料徴収業務，入学者の教育方法の改善に利用します。また，入学料免除，授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあっては，入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお，総合型選抜の入学志願者にあっては，大学入学共通テストの成績を取得する目的で，独立行政法人大学入試センター（以下，「大学入試センター」といいます）へ，総合型選抜の合格者にあっては，国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため，大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

また，出願手続に関する業務を円滑に進めるため，業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して，必要な個人情報を提供しますが，委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ，適切な監督を行います。

Ⅻ．東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では，東日本大震災，東京電力福島第一原子力発電所事故，および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し，被災受験者の進学機会の確保を図るために，令和５年度に行われる全ての入試において，検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

⑴ 対象者

出願期間までに，次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については，検定料を全額免除します。

① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方，または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で，本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失の罹災と認定された方

② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方，または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で，主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方

③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」，「計画的避難区域」，「緊急時避難準備区域」，「特定避難勧奨地点」に平成23年３月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で，これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区　　分	検定料免除の可否（可は○，否は×で示しています）				
①家屋の全・半壊	全　　壊	大規模半壊	半　　壊	流　　失	一部損壊
	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については，再編前の区域としています。

⑵　必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

①　検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報―募集要項」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html)参照

②　次に挙げる証明書のいずれか１つの写し

上記（１）①に該当する場合，「市町村長が発行する罹災証明書」

上記（１）②に該当する場合，「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記（１）③に該当する場合，「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

⑶　必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に出願書類と合わせて提出してください。

なお，検定料免除申請を行う場合は，出願時に検定料を払い込まないでください。

※出願期間後の申請は認められませんので，ご注意ください。

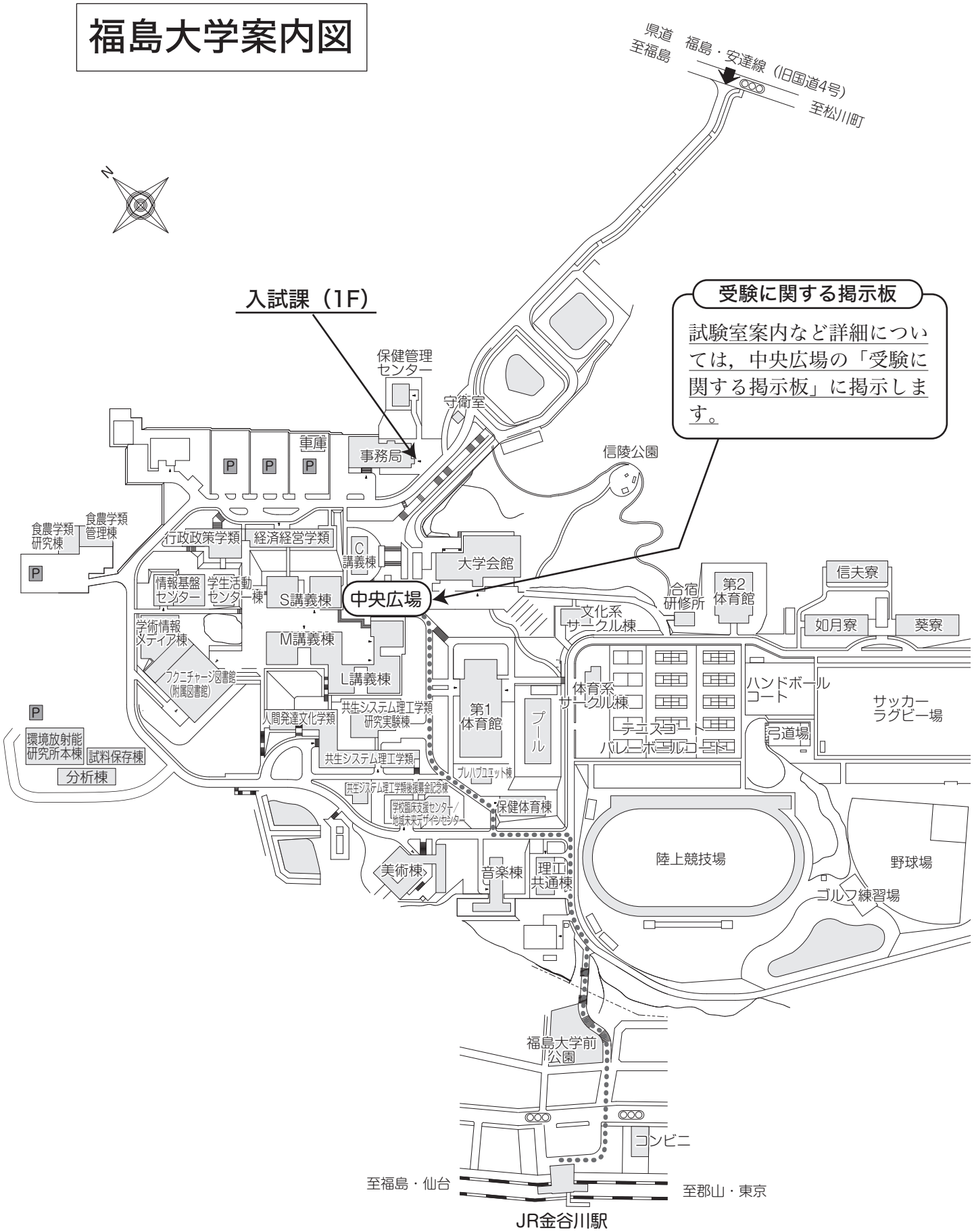
XⅢ．令和７年度福島大学入学者選抜（令和６年度実施）の見直しに関する予告について

本学ウェブサイトの「入試情報」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/) に最新の情報を掲載していますので，ご覧ください。

XⅣ．その他

新型コロナウイルス感染状況等により，令和６年度入試において変更が生じた場合は，本学ウェブサイト「入試情報」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/) で随時お知らせします。

福島大学案内図



JR東北本線金谷川（かなやがわ）駅下車
中央広場まで徒歩約10分

国立大学法人
福島大学
Fukushima University